



**CP SERIES STEREO POWER AMPLIFIER**

**取扱説明書**

**CP800 / CP1000 / CP1200 / CP1400**



**株式会社サウンドハウス**

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡 1958  
TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334  
<http://www.soundhouse.co.jp> [shop@soundhouse.co.jp](mailto:shop@soundhouse.co.jp)

## はじめに

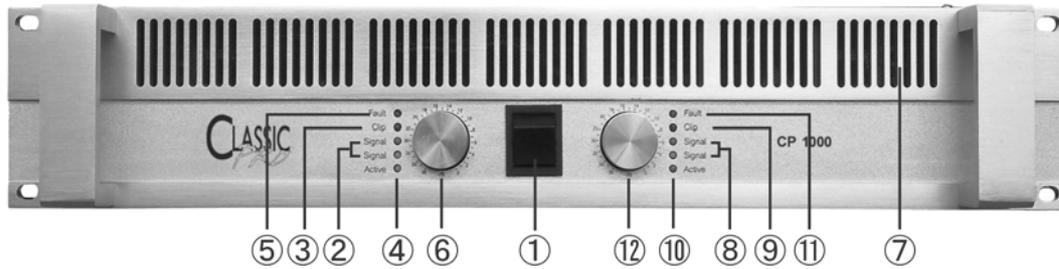
この度は、CLASSIC PRO CP シリーズステレオ・パワーアンプをお買い上げ頂き、誠に有り難うございます。パワーアンプの性能をフルに発揮させ、末永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。尚、お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管して下さい。

## ご使用前に

1. この取り扱い説明書に従って操作して下さい。
2. 水には大変弱いので、雨などがかからないよう充分ご注意下さい。
3. 内部には精密な電子部品が多数実装されています。移動及び輸送時には大きな衝撃が加わらないようにして下さい。
4. 本機の設置場所は直射日光の当たる場所やストーブの直前など、高温になりやすい場所を避け、なるべく通気性の良い場所で御使用下さい。
5. 定格電圧 AC100V、50/60Hz で御使用下さい。
6. 電源コードは機材への挟みこみ等、無理な力が加わらない様御注意下さい。
7. 信号の入出力端子に許容範囲を越える異常電圧が加わらない様にして下さい。

**故障や感電事故を防止すると共に、性能を維持する為にも、ケースを開けて内部に触れたりしないでください。修理が必要な時には、販売店までお問い合わせください。**

## フロント・パネル



### 1. 電源スイッチ

本体の電源を ON/OFF します。ON/OFF の際はゲインコントロールを最小限まで下げてから電源を入れて下さい。機材の電源を入れる順番は楽器、次にミキサー、最後に問題なくすべての電源が入っていることを確認してからアンプの電源を入れて下さい。

### 2. シグナル・インジケータ（チャンネル 1）

音声信号の入力レベルに応じて、2 段階の緑色の LED が点灯します。

### 3. クリップ・インジケータ（チャンネル 1）

チャンネル 1 への信号がオーバーロードしてクリッピングが発生すると、赤のインジケータが点灯します。このままの状態ではチャンネル 1 の音声信号が歪むため、接続しているミキサー等の機材の出力レベルを下げ、過大入力を防いでください。

### 4. Active インジケータ（チャンネル 1）

Active インジケータはパワーアンプをオンにした際、緑色に点灯し、パワーアンプが使用できる状態になっていることを表示します。

### 5. FAULT インジケータ（チャンネル 1）

この FAULT インジケータは、プロテクト回路が出力ショートや DC 漏れを検知した際、赤色に点灯します。赤色のまま点灯し、復帰しない場合はサービスセンターにお問合せ下さい。

### 6. ゲイン・コントロール（チャンネル 1）

このつまみでチャンネル 1 の出力信号を調節します。右回りに回すと出力レベルが上がります。

### 7. 冷却用通気孔

この通気孔から空気を取り入れることにより、本体の過熱を防ぎます。通気孔はふさいだりせず、常に清潔に保って下さい。

### 8. シグナル・インジケータ（チャンネル 2）

音声信号の入力レベルに応じて、2 段階の緑色の LED が点灯します。

### 9. クリップ・インジケータ（チャンネル 2）

チャンネル 2 への信号がオーバーロードしてクリッピングが発生すると、赤のインジケータが点灯します。このままの状態ではチャンネル 2 の音声信号が歪むため、接続しているミキサー等の機材の出力レベルを下げ、過大入力を防いでください。

### 10. Active インジケータ（チャンネル 2）

Active インジケータはパワーアンプをオンにした際、緑色に点灯し、パワーアンプが使用できる状態になっていることを表示します。

### 11. FAULT インジケータ（チャンネル 2）

この FAULT インジケータは、プロテクト回路が出力ショートや DC 漏れを検知した際、赤色に点灯します。赤色のまま点灯し、復帰しない場合はサービスセンターにお問合せ下さい。

### 12. ゲイン・コントロール（チャンネル 2）

このつまみでチャンネル 2 の出力信号を調節します。右回りに回すと出力レベルが上がります。

## リア・パネル



### 1. チャンネル A 入力

XLR と TRS フォン・プラグを接続できる音声信号の入力端子です。TRS フォン端子はアンバランス フォン・プラグも使用可能です。また、それぞれの端子は並列接続になっておりますので、片方を入力、もう片方をライン出力用の端子として使用する事ができます。

**TRS フォンプラグ設定：TIP/プラス、RING/マイナス、SLEEVE/アース**

**XLR 端子設定：PIN3/マイナス、PIN2/プラス、PIN1/アース**

### 2. チャンネル B 入力

XLR と TRS フォン・プラグを接続できる音声信号の入力端子です。TRS フォン端子はアンバランス フォン・プラグも使用可能です。また、それぞれの端子は並列接続になっておりますので、片方を入力、もう片方をライン出力用の端子として使用可能です。

**TRS フォンプラグ設定：TIP/プラス、RING/マイナス、SLEEVE/アース**

**XLR 端子設定：PIN3/マイナス、PIN2/プラス、PIN1/アース**

### 3. 排気口

ツイン・スピードの冷却ファンによりアンプ使用時に内部を冷却します。前面の吸気口をふさいだり、密閉されたラックにマウントしないでください。アンプのオーバーヒート、故障の原因になります。

### 4. チャンネル A スピーカー出力 (5 ウェイ・バイディングポスト及びスピコン)

チャンネル 1 のスピーカー出力です。接続方法は 7 ページ目のセットアップを参照してください。

### 5. チャンネル B スピーカー出力 (5 ウェイ・バイディングポスト及びスピコン)

チャンネル 2 のスピーカー出力です。接続方法は 7 ページ目のセットアップを参照してください。

### 6. モノラル・ブリッジ/ステレオ/パラレル切り替えスイッチ

このスイッチでステレオ、モノラル・ブリッジ、パラレルモードの切替を行います。スイッチを BRIDGE にスライドさせればモノラル・ブリッジモードに、中央の PARALLEL にすると 1ch と同じ信号が 2ch に流れるパラレルモードに、一番下の STEREO に位置で通常ステレオモードになります。

### 7. A/C 電源入力

このケーブルを標準 100V 電源コンセントに挿入してください。必ずアンプの定格電圧及び電流と合致していることを確認してください。

## オペレーティング・モード

### 1. ステレオ・モード

まず音源ソースの入力端子をアンプのチャンネル1、およびチャンネル2に接続してください。次にアンプ背面にある出力端子にスピーカーを接続します。この時、フロントパネル上にあるゲイン・コントロールが最小レベルまで下げられているのを確認してください（最も左回りの状態）。アンプの電源を入れます。次に入力ソースの出力レベルを上げます。出力音量を調節するには、フロントパネル上にあるゲイン・コントロールを使います。出力音量は、クリッピングが発生しない程度に上げてください。ただし、クリップ信号が時々点灯する程度であればOKです。

### 2. モノラル・ブリッジ・モード

アンプを含めすべての音響機材の電源がOFFであることを確認してください。ステレオ/モノラル・ブリッジ・スイッチをモノラル・ブリッジに切替えます。次に入力信号をチャンネル1に接続してください。次にアンプ背面に配置された、赤い出力バイディング・ポストの端子にスピーカーを接続します。ここで音響機材の電源をONにしてください（アンプの電源は最後に入れるようにしてください）。アンプに入力ソースの信号を送信します。アンプの出力レベルを調節するには、チャンネル1のゲインを操作してください。

モノラル・ブリッジ・モードでCPシリーズアンプを使用した場合、出力端子の電圧は全体で100V以上に達し、時にはそれ以上に高電圧になることもあります。よって配線は、完全に絶縁されたスピーカーケーブルを使ってください。またスピーカーのインピーダンスは4以上になるようにしてください。

### 3. パラレルモード

1chに接続した信号と同じ信号が2chにも流れます。スピーカーの接続方法はステレオモードと同じです。1系統のモニターの信号を2つのスピーカーに振り分ける際に便利です。

# セットアップ

## 1. 入力端子

CP シリーズは 1 チャンネルにつき、2 種類の入力コネクタが装備されています。XLR 端子はバランス仕様対応です。TRS フォン端子はバランス/アンバランス・コネクタの両方に対応しています。これらの接続端子を使い、ミキサーやチャンネルデバイダー等の出力端子を CP シリーズの入力端子に接続します。5 メートルを超えるケーブルを使用する場合、バランス仕様による接続をお勧めします。5 メートル以内のケーブルの場合、アンバランス仕様のフォン端子も使用できます。既成のケーブルが多数出回っている為、アンバランス仕様のフォン入力の手軽な接続方法ともいえます。またそれぞれの端子は並列接続になっておりますので、片方を入力、もう片方を出力用の端子として使用する事ができます。

使用例：XLR ケーブルをチャンネル 1 入力に接続します。チャンネル 1 フォン入力端子に接続したケーブルを、他のアンプのチャンネル 1 入力端子に繋いでパラレル接続をすることができます。

図 3

**Male XLR Pin Configuration:**  
*US ITT Standard*

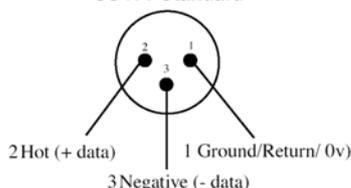


図 4

**Balanced TRS 1/4" Plug**

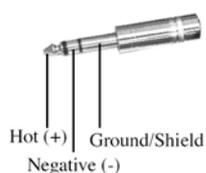
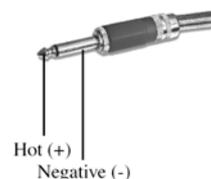


図 5

**Unbalanced TS 1/4" Plug**



## 2. 出力端子

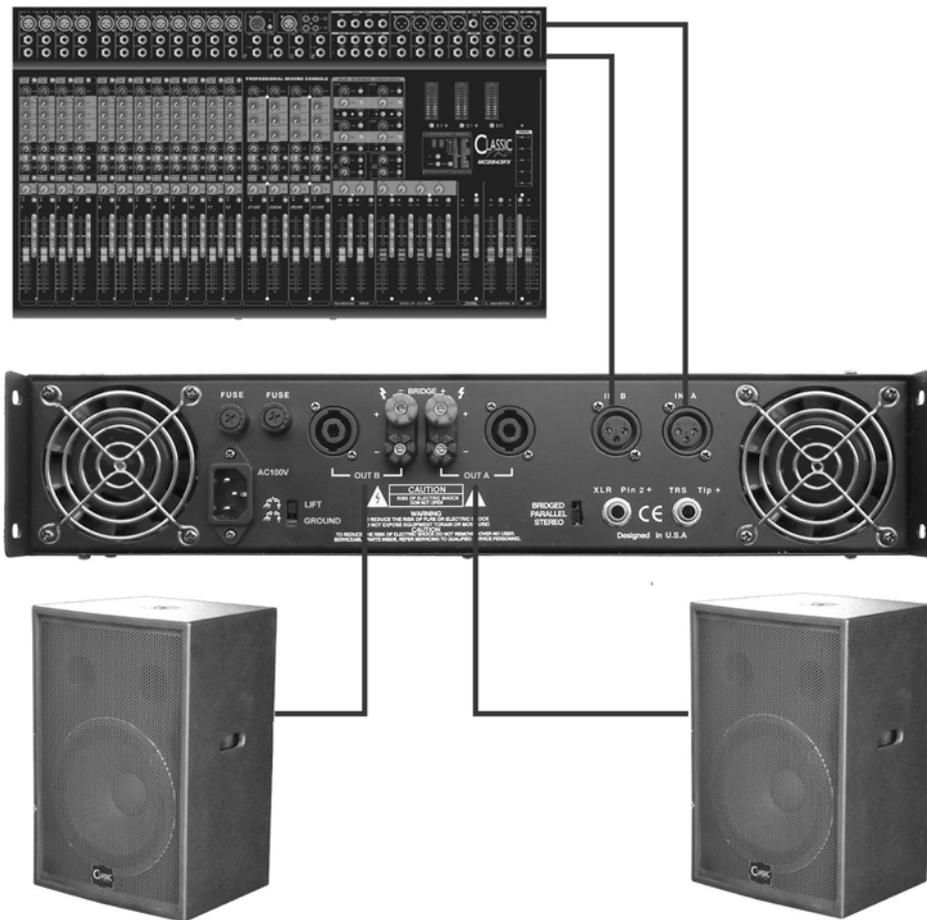
### ・5WAY バインディング・ポスト/バナナプラグ

アンプ背面にあるバインディング・ポスト出力端子に、スピーカーを接続します。ステレオ、パラレルモードの場合、チャンネル 1 およびチャンネル 2 出力端子に接続します。モノラル・ブリッジ・モードの場合、チャンネル 1 およびチャンネル 2 の赤ターミナル双方に接続してください。スピーカーケーブルのマイナス・リードをアンプ バインディング・ポストの黒端子に、プラス・リードを赤端子に接続するようにして下さい。正しい極性設定はスピーカーの位相不一致を防ぎ、結果として低音が損なわれることを防止します。

### ・スピコン端子

アンプ背面にあるスピコン端子に接続します。スピコンは 1 番の+ - で配線されたものをご使用下さい。スピコン端子を差し込んで右に回すとロックされます。ステレオ、パラレルモードの場合、チャンネル 1 およびチャンネル 2 出力端子に接続します。

## PA システムにおけるステレオ・セットアップ例



## PA スピーカーを使用したモノラル・ブリッジ接続例



## スペック

|                | CP800  | CP1000     | CP1200     | CP1400      |
|----------------|--|------------|------------|-------------|
| ステレオ出力 (2 )RMS | 450W+450W                                      | 680W+680W  | 700W+700W  | 1000W+1000W |
| (4 )RMS        | 380W+380W                                      | 620W+620W  | 650W+650W  | 900W+900W   |
| (8 )RMS        | 240W+240W                                      | 340W+340W  | 450W+450W  | 560W+560W   |
| ブリッジ出力 (4 )RMS | 900W   | 1100W      | 1300W      | 1500W       |
| (8 )RMS        | 740W   | 1000W      | 1200W      | 1400W       |
| 周波数特性(±0.3dB)  | 20Hz～20kHz                                     | 20Hz～20kHz | 20Hz～20kHz | 20Hz～20kHz  |
| スルーレート・ステレオ    | 40V/μsec.                                      | 40V/μsec.  | 40V/μsec.  | 50V/μsec.   |
| 全高調波歪          | 0.05%以下  | 0.05%以下    | 0.05%以下    | 0.05%以下     |
| 入力感度           | +4dBu  | +4dBu      | +4dBu      | +4dBu       |
| 入力インピーダンス      | 20k (バランス)10k (アンバランス)                         |            |            |             |
| ダンピングファクター     | 300  | 300        | 350        | 400         |
| ハム&ノイズ         | -103dB   | -103dB     | -103dB     | -103dB      |
| クロストーク         | <60dB  | <60dB      | <60dB      | <60dB       |
| 入力端子           | XLR&TRS フォン×2                                  |            |            |             |
| 出力端子(スピーカー)    | 5WAY パインディングポスト、スピコン                           |            |            |             |
| 冷却機構           | 2 スピード DC ファン×2                                |            |            |             |
| 保護回路           | DC 検出、電源 ON/OFF ミューティング、ショートサーキット、オーバーロード・保護回路 |            |            |             |
| 消費電力           | 700W/7A  | 900W/9A    | 1400W/14A  | 1600W/16A   |
| サイズ            | 48.3W×8.9H×47Dcm、2U                            |            |            |             |
| 重量             | 22kg   | 24kg       | 26kg       | 28kg        |